

大網白里町公共下水道事業 事業再々評価

平成20年7月
大網白里町下水道課

大網白里町の概要



事業の必要性(汚水)

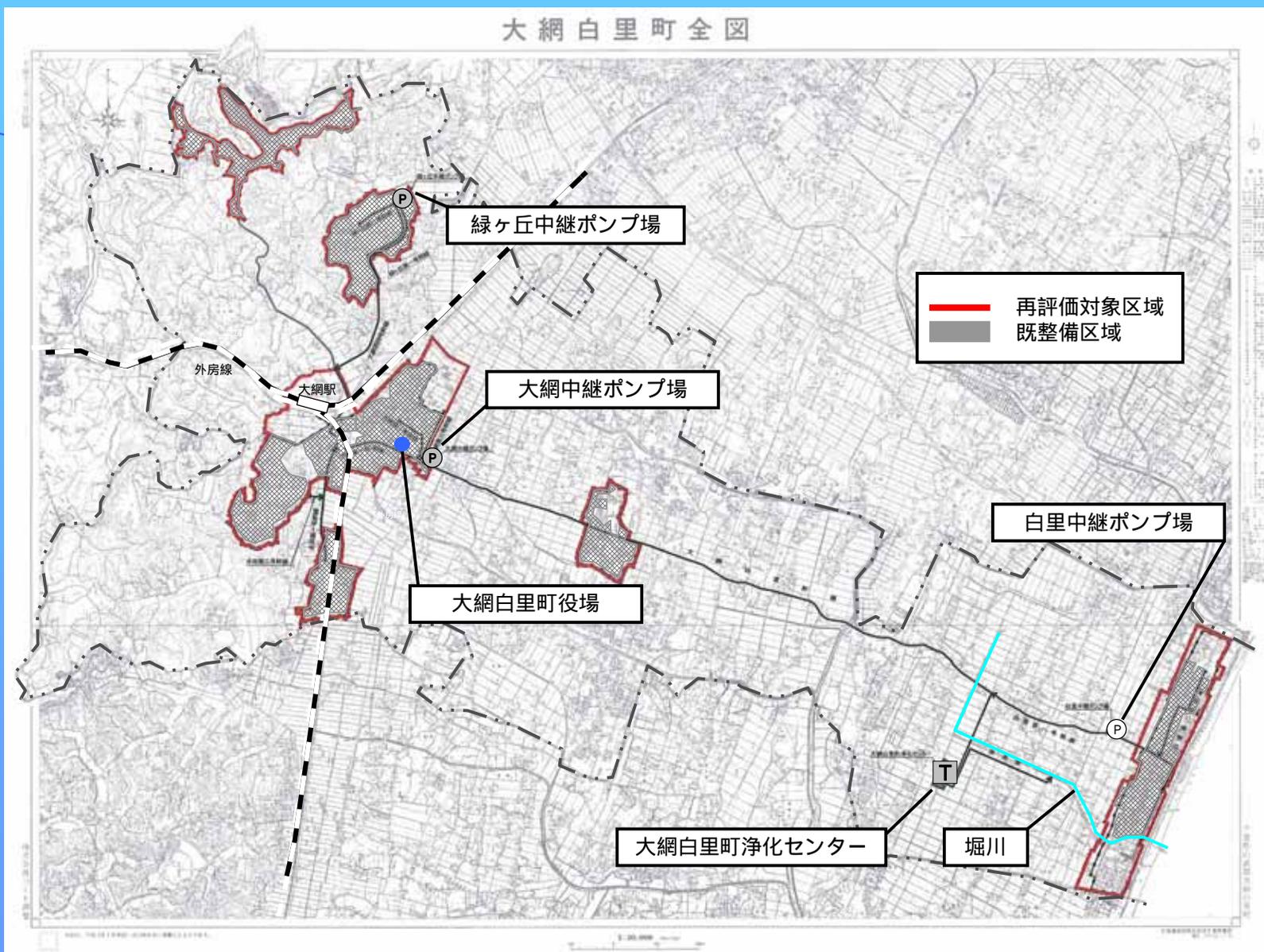
【汚水】

居住環境の改善

公共用水域の水質保全



事業の概要(汚水)



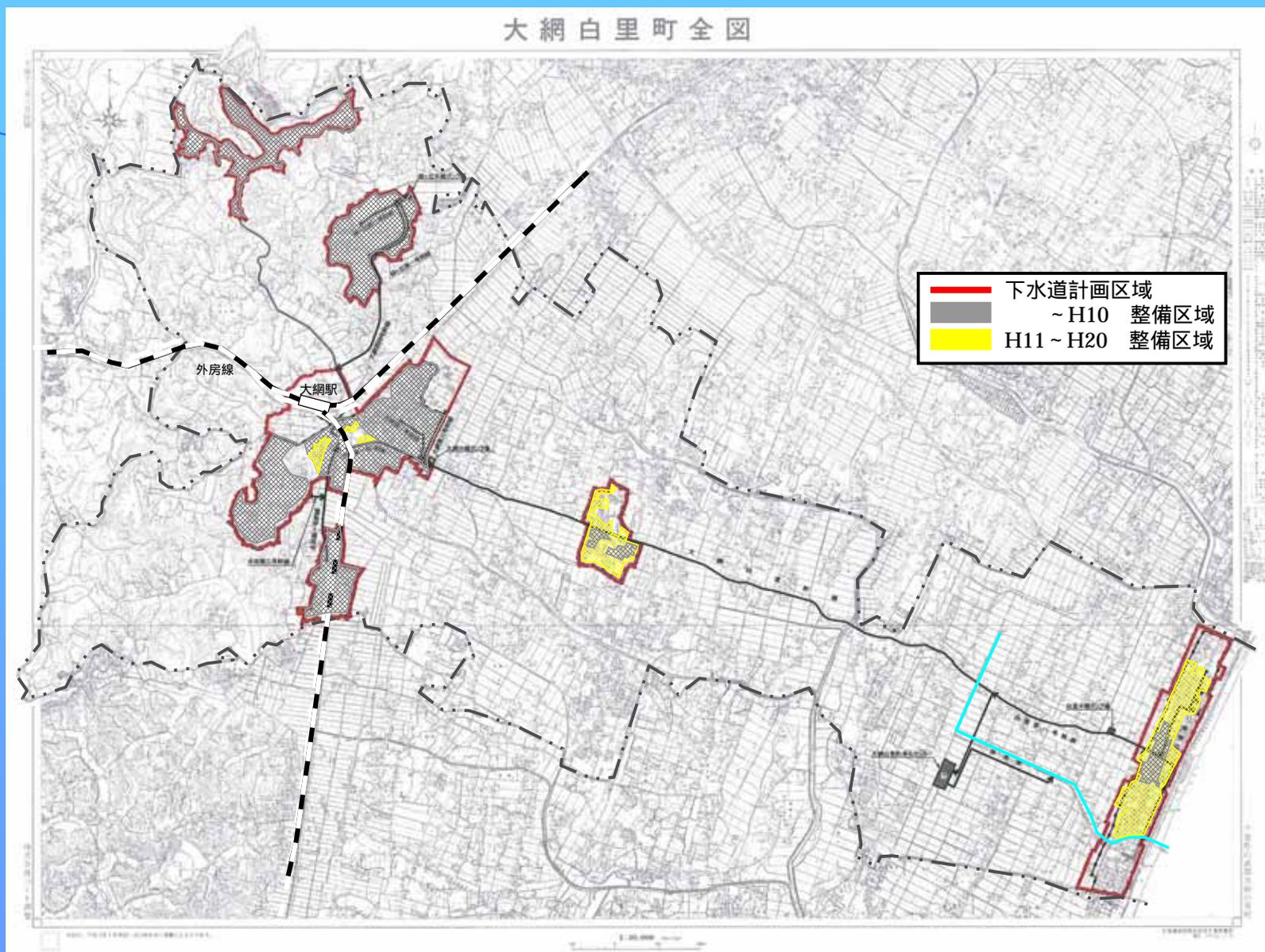
指標1 費用効果分析(汚水)

総便益(B)	767 億円
総費用(C)	582 億円
費用便益比 (B/C)	1.3

指標2 事業の進捗状況(汚水)

指 標	状 況
事業の進捗状況	平成20年度末時点での整備面積見込みは、事業計画498haに対して441haを整備し、整備率は89%である。
処理場用地の取得状況	全用地を取得済である。
処理施設の供用状況	事業計画の処理能力13,300m ³ /日に対し、11,900m ³ /日を整備済であり、整備率は89%である。
供用開始区域の接続状況	接続率は91%である。
地元情勢等	大網白里町議会の理解及び地元住民の理解・協力は得られている。

指標2 事業の進捗状況(汚水)



指標3 社会経済情勢等(汚水)

指 標	状 況
社会経済情勢	新たな開発等もなく、下水道事業に影響のある大きな社会経済情勢の変化は特にはない。
自然環境条件	水質汚濁に係る水質環境基準の新たな設定等、下水道事業に影響のある要因はない。
計画変更の有無及びその程度	全体計画及び事業計画について、必要に応じ適切に見直している。

指標4 コスト縮減・代替案(汚水)

指 標	状 況
コスト縮減	アスファルト合材・路盤砕石等再生資材の利用によりコスト縮減に努めている。
代替案	本町の市街化の状況や浄化槽との費用比較をした結果からも、下水道整備が最適。

対応方針【案】（汚水）

大網白里町公共下水道事業（汚水）は順調に進展しており、今後も順調な進展が見込まれることから、当事業を継続していく方針です。

事業の必要性(雨水)

【雨水】

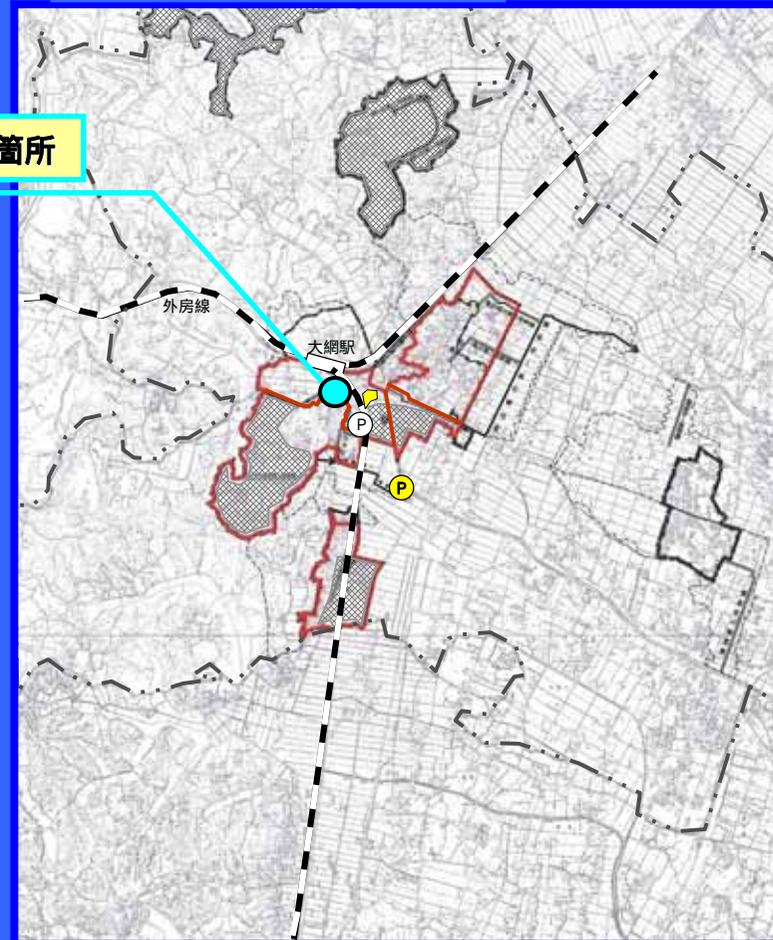
浸水による被害から住民の安全と財産を守る。



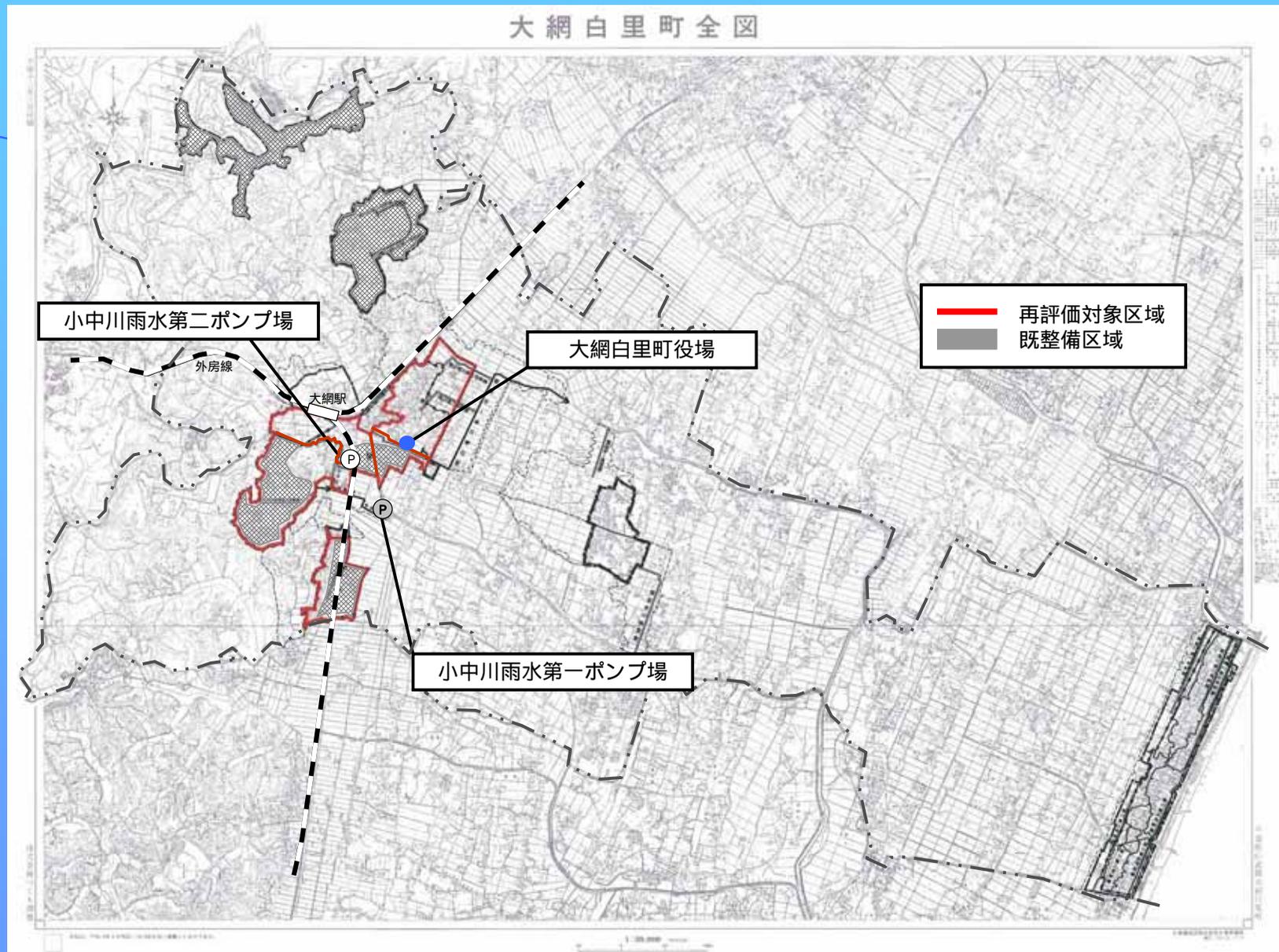
浸水発生時

(平成16年 大網地区における浸水被害)

浸水箇所



事業の概要(雨水)



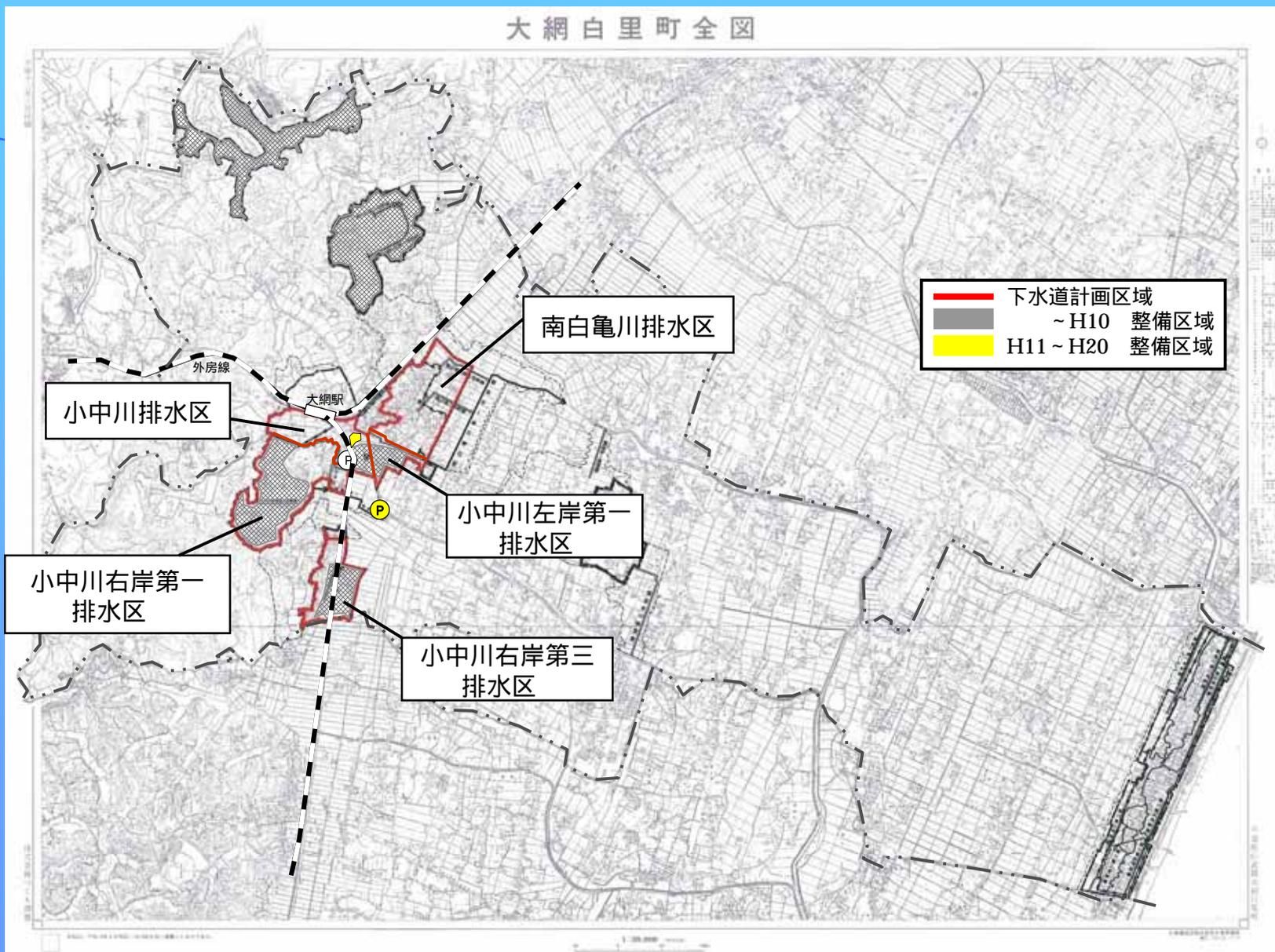
指標1 費用効果分析(雨水)

総便益(B)	275 億円
総費用(C)	150 億円
費用便益比 (B/C)	1.3 ~ 4.1

指標2 事業の進捗状況(雨水)

指 標	状 況
事業の進捗状況	平成20年度末時点での整備面積見込みは、事業計画157haに対して120haを整備し、整備率は76%である。
地元情勢等	大網白里町議会の理解及び地元住民の理解・協力は得られている。

指標2 事業の進捗状況(雨水)



指標3 社会経済情勢等(雨水)

指 標	状 況
社会経済情勢	新たな開発等もなく、下水道事業に影響のある大きな社会経済情勢の変化は特にはない。
計画変更の有無及びその程度	全体計画及び事業計画について、必要に応じ適切に見直している。

指標4 コスト縮減(雨水)

指 標	状 況
コスト縮減	アスファルト合材・路盤砕石等再生資材の利用によりコスト縮減に努めている。

対応方針【案】（雨水）

大網白里町公共下水道事業（雨水）については、
今後も引続き整備が必要であることから、当事業を
継続していく方針です。